

# 消 防 費

・消防費



**常備消防費****総務課**

## (1) 乙訓消防組合

乙訓消防組合に対し、分担金を負担した。 323,715,000 円

**非常備消防費****総務課**

## (1) 消防団は新型コロナウイルス感染症禍の中、感染防止対策をとりながら防火防災活動を行った。

事業名	実施年月日	参加者数	場所
水防研修会	R3.7.4	30 人	大山崎消防署名神高速道路高架下訓練場
幹部・初級団員教養訓練	R3.10.3	28 人	大山崎消防署名神高速道路高架下訓練場
秋の火災予防運動に伴う広報パトロール	R3.11.9～14 6日間	延べ32 人	大山崎町管内
活性化事業	R3.11.28	23 人	キョーイチアミューズメントパーク吉祥院
年末特別警戒	R3.12.25～30 6日間	延べ123 人	大山崎町管内(各分団詰所)
大山崎町消防出初式	R4.1.9	41 人	大山崎町体育館
春の火災予防運動に伴う広報パトロール	R4.3.1～6 6日間	延べ28 人	大山崎町管内

(2) 消防団は火災予防にも積極的に取り組むとともに、府立消防学校に団員を派遣し教育を実施した。操法指導科については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止された。また、研修のため管外へも団員を派遣し、情報収集や見聞を広め、団員の資質向上に努めた。

## ○京都府立消防学校派遣研修

消防団員特別教育操法指導科 中止

消防団員幹部教育指揮幹部科分団指揮課程 1日 3人

○京都府消防協会乙訓支部管外研修 2日 3人

## (3) その他

消防団は、毎月自主訓練を行っているほか、消防車両を常時出動可能な状態にしておくため機関点検を行う等、万一の災害に備えている。

**消 防 施 設 費****総務課**

## (1) 水道事業会計負担金

3,612,000 円

消火栓等維持費

公設水利の維持管理費用

消火栓 244箇所

防火水そう 57箇所

} 301箇所×1,000円×12ヶ月

**水 防 費****総務課**

## (1) 水防出動に備え、水防活動に必要な資器材を購入した。

水防活動用資材(土のう袋、ブルーシート、災害対応用砂他)

135,624 円

## (2) 桂川・小畑川水防事務組合

京都市・長岡京市・大山崎町で構成する水防事務組合の負担金

818,000 円

水防事務組合水防訓練は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止された。

〈資料1〉 火災概要(過去3年間)

区分		年別	令和元年	令和2年	令和3年	昨年との比較増(減▲)
火災件数	計		2	2	4	2
	建物		0	2	2	0
	車両		1	0	1	1
	林野		0	0	0	0
	その他		1	0	1	1
建物焼損床面積(㎡)			0	15	329	314
建物焼損表面積(㎡)			0	0	6	6
林野焼損面積(a)			0	0	0	0
焼損棟数	全焼		0	0	1	1
	半焼		0	0	0	0
	部分焼		0	1	1	0
	ぼや		0	1	1	0
り災人員			0	4	4	0
り災世帯	全損		0	0	1	1
	半損		0	0	0	0
	小損		0	2	1	▲ 1

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

区分		年別	令和元年	令和2年	令和3年	昨年との比較増(減▲)
死傷者	死者		0	0	1	1
	負傷者		0	1	1	0
損害額(千円)			11	2,726	38,110	35,384
主な火災原因	たばこ		0	0	0	0
	こんろ		0	1	0	▲1
	火入れ		0	0	0	0
	たき火		0	0	0	0
	火あそび		1	0	0	0
	こたつ		0	0	0	0
	電気機器		0	0	0	0
	配線器具		0	1	0	▲1
	放火・放火の疑い		1	0	0	0
	その他		0	0	3	3
	不明		0	0	1	1
	計		2	2	4	2

※大山崎町管内分

(乙訓消防組合統計より)

〈資料2〉 救急活動概要(過去3年間)

区分		年別	令和元年	令和2年	令和3年	昨年との比較増(減▲)
出 動 件 数			1,225	1,005	1,097	92
取 扱 件 数			1,095	940	1,024	84
事 故 別	交 通 事 故		103	90	83	▲ 7
	急 病		771	640	731	91
	一 般		195	173	174	1
	そ の 他		156	102	109	7
救 護 人 員			1,104	943	1,030	87

事故別の出動状況をみると急病が731件と最も多く、全体の約 67%を占めた。

(乙訓消防組合統計より)

大山崎消防署が出動した件数で、町外への出動を含む。

〈資料3〉 消防団の出動状況(令和3年度中)

区分		種別	計	災 害 出 動			演 習 ・ 訓 練	広 報 活 動	研 修 ・ 会 議	機 関 点 検	特 別 警 戒	そ の 他	
				火 災	う ち 林 野	捜 索 活 動							風 水 害 等 の 災 害
消 防 団	出 動 回 数		89	0	0	0	0	10	12	15	36	9	7
	出 動 延 人 員		823	0	0	0	0	116	60	63	308	153	123

消防団員は、火災、その他の災害による被害を最小限にとどめるため、専門知識の習得、技術の練磨を重ねた。

### 1. 災害対策(警戒)本部設置状況

各種気象警報等の発表・被害の発生に伴い、災害対策(警戒)本部を計6回設置した。

設置日	事象	避難情報など
令和3年5月21日 (金)	5月21日7時30分 大雨警報(土砂災害)発表 5月21日11時31分 大雨警報(土砂災害)解除	災害警戒本部設置 災害警戒本部閉鎖
令和3年7月7日 (水)	7月7日21時33分 大雨警報(土砂災害)発表 7月8日9時21分 大雨警報(土砂災害)解除 7月8日9時34分 災害警戒本部閉鎖	災害警戒本部設置
令和3年8月13日 (金)	8月13日17時11分 大雨警報(浸水害)発表 8月13日19時33分 大雨警報(浸水害)解除 8月13日19時45分 災害警戒本部閉鎖	災害警戒本部設置
令和3年8月14日 (土)	8月14日8時36分 大雨警報(土砂災害)発表 8月14日8時54分 大雨警報(浸水害)発表 8月14日14時39分 大雨警報(浸水害)解除 8月15日10時56分 大雨警報(土砂災害)解除	災害警戒本部設置 災害警戒本部閉鎖
令和3年8月17日 (火)	8月17日15時6分 大雨警報(土砂災害)発表 8月17日20時56分 大雨警報(土砂災害)解除	災害警戒本部設置 災害警戒本部閉鎖
令和3年8月18日 (水)	8月18日6時57分 大雨警報(土砂災害)発表 8月18日15時40分 大雨警報(土砂災害)解除 8月18日15時52分 災害警戒本部閉鎖	災害警戒本部設置

### 2. 防災パトロール

大山崎町地域防災計画に基づき、出水期を迎えるにあたり、災害時に危険が予想される箇所の総点検を実施し、防災上必要な対策を検討し、万全を期すことを目的に実施した。

○実施日：令和3年5月19日(水)      ○参加者数：5名(新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、職員のみで実施)

○パトロール箇所：大山崎排水ポンプ場、早稲田急傾斜地、五位川及び砂防堰堤の状況、御茶屋池及び堤体の状況、千谷川砂防堰堤及び久保川の状況、久保川砂防堰堤及び斜面法面の状況

### 3. 自主防災組織の支援

自主防災組織の活動を支援するため、自主防災活動補助金を支出した。

○自主防災活動補助金:302,884円(計6団体)

### 4. 防災資機材等の整備

備蓄用の飲料水及び粉ミルクを調達したほか、避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、間仕切りや防護服、手指消毒用アルコール等を調達し、避難所に配備した。

### 5. 防災啓発の実施

○出前講座:防災に関する出前講座を計3回実施し、延べ95名の方が受講した。

○防災伝道師:防災活動の活性化に寄与する人材育成を目的とした講座を2日程実施し、延べ12名の方を大山崎町防災伝道師として認定した。

○広報:4月号から12回にわたり「広報おおやまぎき」に防災記事を掲載し、住民の防災意識の高揚を図った。

### 6. 新型コロナウイルス対策本部の設置

新型コロナウイルス感染症に係る情報集約、各種対策に関する方針決定を目的として、理事者及び部長級職員による「新型コロナウイルス対策本部」を設置しており、全庁的な対応を図った(新型コロナウイルス対策本部会議を39回実施)。

### 7. 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染状況をふまえ、住民へ迅速な情報提供を行うために、ホームページや広報誌による情報発信のほか、防災行政無線を活用したゴールデンウィーク中の外出自粛の呼びかけを行った。

### 8. 新型コロナウイルス感染症対策事業に係る支援

新型コロナウイルス感染症対策事業を行う町内の医療機関、介護サービス事業所及び障害福祉事業所、自治会などに対して、補助金を支出した。

○福祉施設等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金:2,889,681円(計17団体)

○自治会等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金:150,000円(計3団体)

